

# れんごう鳥取



2020年6月1日  
No.6



発行・日本労働組合総連合会鳥取県連合会  
発行人・本川博孝 編集人・森本哲司  
〒680-0847 鳥取市天神町30-5  
TEL(0857)26-6605・FAX(0857)26-6615  
E-mail: tottori@tottori.jtuc-rengo.jp  
ホームページ: https://jtuc-tottori.jp

## 応援メッセージ

みんなで力を合わせて、コロナ禍を乗り越えるため、執行委員会役員からのメッセージをお届けします。

新型コロナウイルスの感染拡大は、命と健康のみならず、雇用と生活、そして経済そのものの失速という広範な影響をもたらし、「緊急事態宣言」が解除された今もその恐怖・影響は続いています。

そのような中、見えない感染リスクと闘いながら、医療体制の確保、インフラ基盤・生活必需品の確保等、経済・社会の維持のために極めて高い繁忙感の中で務めを果たしている仲間に感謝し、支えていかなければなりません。連合鳥取は、引き続き、感染症の早期終息とすべての働く者の安心確保のため、政策実現活

自治労では、働く者の健康を守り、安心して働ける職場環境を守るために関係省庁、政党への働きかけを強めています。

新しい生活様式でコロナを防ぎ、安心を取り戻しましょう！

【自治労】山口一樹 澤田陽子  
苗村るみ子

新型コロナウイルス感染症は私たちの社会生活に大きな影響を及ぼしていますが、生活に密着した産業で働くUAゼンセンの多くの仲間はコロナ禍のなかでも安心・安全な日常生活を維持するため日々職場で奮闘しております。

ともに頑張りましょう！

【UAゼンセン】林 大介

動や職場労使における対策の徹底などに取り組んでいきます。

お互いを信頼し合い、相手を認め、連帯を深め、この経験を通じて社会の変革を促し、私たちが掲げる誰一人取り残されることのない公正な社会の実現、平和・人権・環境が守られ、誰もが笑顔のあふれる未来を構築していきましょう！

【連合鳥取】本川博孝 田中 穂 江口真也  
吉田 正 松本善樹 佐貫 静

見えないウイルスとの闘いの中、信じられないことが全世界で起きています。これまでの当たり前の日常が、どれほど幸せだったのかを感じておられることと思います。

この困難を乗り越え、変革へのチャンスと捉えて明日に向かってともに一歩踏み出しましょう！

【電機連合】森本哲司 川口翔子

コロナに負けるな！  
今こそ団結が試される時。  
在宅勤務が不安なのは皆同じ。  
感染症を乗り越える気持ちは一つだ。

次には必ず景気の回復が待っている。その時に備えて今は我慢だ！

みんな頑張ろう！  
【JAM】垣屋克吉



コロナの霧で先が見えない今だからこそ、連帯と助け合いが必要です。

無理をしそうで、頑張りすぎないで、お互いを理解しあって協力しあいましょう。

いつか必ず霧は晴れます。明るい未来を信じ、OneTeamで進みましょう。

【JR連合】飯國永睦 安養寺芳美

災害や感染症に強い新環境の「学校」が必要です。

「3密」を解消し少人数学級を推進する等、すべての子どもたちの安心・安全とゆたかな学び、生活を保障するための実効性のある政策を求める全力でとりくみます。

【日教組】井上匡央 古川峰央

コロナウイルスにより、あたり前と思っていた生活は一変してしまいました。医療関係のほか、ライフラインに関する仕事に従事している多くの仲間に感謝しています。

一人ひとりの行動で感染拡大を抑制し、これまでの生活に近づけるようともに頑張りましょう。

【JP労組】谷本 寛 小西由起  
坂本浩憲 矢辺慎一

みなさん大変な毎日を過ごされているかと思います。今が踏ん張りどころです。

明るい未来が必ずやって来ると信じ、そして大切な家族、仲間を守るためにも、自分達のできる事を実践しコロナウイルスに打ち勝ちましょう。

【紙パ連合】井塙和幸

6月は「男女平等月間」

仕事の世界における  
あらわるハラスメントと暴力を禁止しよう！

当たり前だと思っていた日常が、当たり前ではなく大変ありがたく感じる事ができた。政治は他人事ではなく、私たちが暮らす社会全体をつくり、私の生活に関わってくる『自分事、だとわかった。

ピンチをチャンスにつなげる。

地域の農畜産物をたくさん食べて、コロナに打ち勝とう！

【全国農労連】長屋幸美 山本徳穂

昼夜を問わずコロナウイルス対応にご尽力いただいているすべての労働者のみなさまに感謝を申し上げます。

みなさんが協力をしてこの難局を乗り越え、一日でも早く元の生活に戻れることを切に願っています。

コロナに負けるな！

【電力総連】安藤光平

各自動車メーカーなどは休業が続いた影響で働く仲間も苦しい状況には変わりありません。

現在はサポカー補助金制度もありますので、日本が世界に誇る自動車産業を支えていきましょう。よろしくお願ひいたします。

【自動車総連】和泉貴弘

トラック運輸産業で働く仲間は、国民生活を支えるライフラインとして重要な役割を担っています。

これからも感染予防に努め、この厳しい環境下においても物流を止めてはならないという使命感をもち毎日荷物を運び届けます。

【運輸労連】山崎 瞳

交通運輸産業は日常生活に必要不可欠な人流・物流を滞らせるこのないよう感染のリスクと闘いながら使命感を持って日夜業務にあたっています。

生活の維持と産業の存続へ、今こそみんなで支え合い、コロナ禍を乗り越えましょう。

【交通労連】中嶋逸公 村尾昌彦

私たちは過去にも感染症と闘ってきました。ワクチンが開発され、新型コロナが「ふつうの風邪」になるまでもう少し時間が必要です。

この間に自身を磨くための講習や研修に充て、地域の自然を満喫するため「地産地消」「地観地商（地域で観光、地域の商売・店）」で共に支えあいましょう。

【情報労連】金田慎一

旅客輸送は、「社会生活維持のため必要」な業種に位置付けられ、地域輸送にかかわる交通事業者は運行を継続することが責務となっています。

依然、厳しい状況にありますが、感染予防対策を十分におこない、「地域住民の足」として、路線の確保、維持に努めています。

【私鉄総連】矢田仁志

私たちは「見えない敵」との戦いを余儀なくされています。

私たちフード連合に集う仲間は、製造現場に限らず、各職場において、いつだって、人々の「安全・安心」を脅かす見えない敵と常に闘っています。

思い起こせFood Pride！

【フード連合】鈴木和夫 森由香里

こんな時だからこそ、家族や仲間の絆が感じられ、また、こんな時だからこそ家族や仲間の支え合いがより大切になります。

みんなの力でこのコロナ禍を乗り切っていきましょう！！

【全水道】田中文人

## あらゆるハラスメントを根絶し、 だれもが生き生きと働き続けられる社会を実現しよう！ －6月は男女平等月間－



連合は、性別・年齢・国籍・障がいの有無・就労形態などにかかわらず、誰もが多様性を認め、互いに支え合うことのできる職場・社会の実現をめざし、様々な取り組みを行っています。

連合鳥取はその実現に向けて、男女平等参画をはじめとして、「真の多様性」に向けた職場環境の改善などの取り組みを推進していきます。

### ＜今年度の取り組み＞

- ・連合鳥取「第3次男女平等参画推進計画」進捗状況を点検
- ・第17回男女平等参画学習会
- ・労働局および自治体への要請行動
- 【6月】
- ・全国一斉集中労働相談ホットライン【6/15~16】
- ・2020年度男女平等参画実態調査
- ・ハラスメント実態調査

### 第17回 男女平等参画学習会

当初6月20日（土）開催を予定していた「男女平等参画学習会」は、新型コロナウイルス感染・拡大防止の観点から延期しました。今秋の開催に向けて準備を進めています。決定次第、ご案内しますので、積極的なご参加をお願いします。

## 境港市長選挙 推薦決定 (2020年7月12日投開票)

連合鳥取は、「第6回(持ち回り)執行委員会(2020.5.22~27)」において、7月5日告示・7月12日投開票日の境港市長選挙に、右記の予定候補者を推薦することを決定しました。

組合員のみなさまはもとより、ご家族、ご友人、知人のみなさまからのご支援をよろしくお願いします。



伊達  
憲太郎  
さん  
(61歳／新人／自治労)

## メーデー献血に 一東部・西部で実施 ご協力ありがとうございました

—鳥取県赤十字血液センターよりお礼が届きました—

常日頃より、連合鳥取の組合員のみなさんには、大変お世話になっております。

2020年4月中旬から5月にかけて連合鳥取の協力を得て献血を実施させていただきました。

新型コロナウイルスの影響により、困難な状況が続く中で「今、私たちにできることをしたい」とのありがたいお申し出により、鳥取県赤十字血液センター(鳥取市)、献血ルームひえづ(日吉津村)並びにイオン米子駅前店(米子市)で献血バスでの協力をいただきました。また、西部地域協議会においては、新型コロナウイルスの感染拡大を見越して3月中から献血ルームひえづで、通常のメーデー献血期間より前倒しでの協力もいただきました。

「献血は初めて」、「久しぶりの献血」という方も多く、3月から5月の期間中で172人のみなさんに来ていただきました。誠にありがとうございました。

みなさんが笑顔で協力してくださる様子が大変うれしかったです。「このような時期だからこそ協力できてよかった」とのお言葉も頂戴しました。

今後とも、ご協力をよろしくお願いいたします。

(寄稿／鳥取県赤十字血液センター  
尾崎竜太さん)



鳥取県赤十字血液センターにて

イオン米子駅前店にて

献血車(イオン米子駅前店)

献血された血液は、赤血球・血小板・血漿などの輸血用血液として使われるほか、血漿中の特定のタンパク質を抽出・精製した血漿分画製剤の原料として使用されます。

## 産別リレー



## 全国ガス労働組合連合会

全国ガス  
におじやまします

全国ガスは、ガスをはじめとする関連産業に働く労働者の仲間、約24,000人(85組合)が結集している「ガス産業」唯一の産業別労働組合の組織です。

1946年7月2日に「全国瓦斯労働組合連絡協議会」として結成され、2016年7月に70周年を迎えました。

基本目標として「生涯にわたり安定し、安心とゆとり・豊かさ、生きがい・働きがいの実感できる生活」および「平和で公正な社会」の実現をめざします。

## Information

※詳しくは、連合鳥取事務局へお問い合わせください。

### 連合全国一斉集中労働相談

## 女性のための労働相談 ホットライン

「職場で悩む」あなたを応援します

フリーダイヤル いこうよ れんごうに

0120-154-052

2020年6月15日(月)・16日(火) 10:00～19:00

※上記期間以外でも受け付けています。※電話を掛けたお近くにある連合(地方連合会)につながります。

LINEで相談する

期間限定 6月15日(月)・16日(火)  
10:00～15:00(最終受付14:30)

※LINEは連合本部につながります。

電話で相談する

携帯・スマート

一人で悩まず、お気軽に電話でお電話ください。

男性からの相談電話も受け付けます。

※ご家族、ご友人でお悩みの方にもご紹介ください。

「新型コロナウイルス」に関する

労働相談も受け付けています。

### 連合鳥取「労働政策セミナー・政策討論集会」

■日 時 7月4日(土)13時30分～16時30分

■場 所 倉吉未来中心・セミナールーム3

■内 容 ・講演「新型コロナウイルス感染を受けての連合政策について」(仮称)

講師／連合総合政策推進局

総局長 井村和夫さん

・活動報告 湯原俊二さん

・2021年度連合鳥取政策制度要求(案)提起・討論

■その他 託児を実施

※申し込み〆切／6月15日事務局必着

感 染 ウ キ ニ フ ォ リ ト ル ン  
新 型 コ ロ ナ 病 感 染 防 止  
防 止 対 策

①規模／60人程度(180人収容の会場の1/3の人数)

※ソーシャルディスタンスの確保

②参加者は家の検温とマスクの着用をお願いします。

③会場入り口に消毒液を設置します。

④休憩時、窓を開放して換気を行います。



### ゆうきチ家族 ガスの安心・安全物語

～暮らしの安全を守る！緊急保安編～



\*1 ガス会社では、ガス漏れ、ガス事故等の緊急時に備えて、24時間365日の保安体制を敷いています。

\*2 状況に応じて、その他の対応を依頼させていただく場合がございます。

次回は… 政労連をご紹介



## 湯原俊二 —緑肥の想い—

## 民主リベラル勢力は合流し、 世論の大きな受け皿に

新型コロナウイルスへの対応で、安倍政権は後手に回り迷走し続けました。

その上政治の私物化である検察庁法の改正です。それでもマスコミの世論調査では、自民党の支持率はさほど下がっていません。世論調査のコンピューター質問に最後まで付き合って回答するのは半分強、その回答者のうち60歳代以上が約7割、60歳未満は約3割です。昭和の自民党を支持してきた方が、政策は真反対になつたにも拘らず、未だに惰性で自民党を支持されているからです。若い方が選挙に行けば、結果は大きく変わります。

この間、日本維新の会の支持率は堅調です。テレビ・マスコミに橋下徹氏、吉村大阪府知事が多く出演し、安倍政権への反対票の受け皿になっています。一方、立憲民主党や国民民主党の支持率は上がっています。大きな原因は、会派は一緒でも政党が別れ、情報発信がバラバラだからです。

私は、民主リベラル勢力は合流し、情報発信を一本化し、世論の大きな受け皿をつくるべきと考えます。

コロナ禍の中でも立ち向かう(2020年5月／米子市公会堂前)



## “ザ・議員”

### 柊 康弘 境港市議会議員

令和2(2020)年3月定例会にて、2年間務めた議長の職を慣例にならい辞職しました。この2年間たいへん貴重な経験をさせていただき感謝いたしております。

また、議長公務を優先するため、連合鳥取からお招きいただいた各種行事への参加がかなわなかったことに、この場をお借りしてお詫び申し上げます。

これから残りの任期の2年間は、一議員として地域の発展に寄与できるようより一層議員活動に邁進してまいるとともに、連合鳥取の組合員のみなさんと連携して働くものの代弁者として声を届けてまいります。

引き続きどうぞよろしくお願ひいたします。



境港市議会の様子  
(2019.12)  
写真上段／柊議長(当時)

### 長束 博信 南部町議会議員

先輩の後を受けて議会活動3年半が過ぎました。

人を大切にするまちづくり、差別をなくす町づくりを標ぼうし、一般質問では人権問題、近年多発する自然災害に係る防災(原発を含む)を中心に行ってきました。

その他では、国がまだ何も方針を示さない時「働き方」で正規・非正規職員問題、小・中学校の教職員の労働実態の指摘、障がい者・中小企業支援など様々な課題指摘と子育て支援や人口減少課題、里地里山全国ネットワークづくり提言などを行いました。

また一方、昨年12月には民生教育常任委員長として、2020年度の行政要望で『ひきこもりの実態調査結果提示・人権侵害の解消及び子どもの貧困解消の取り組み・特定がん検診の受診率向上策・中学卒業後の進学奨励金(給付型)の拡充・保育園はどうあるべきか保育計画の提示・西伯病院を地域医療の中核施設として反映していく体制の考え方』などを取りまとめ、町長に申し入れました。



民生教育常任委員会で行政視察(智頭町)  
(左から2番目が長束議員)

▼コロナ関連収束と、経済の回復、どちらも短期間で解決できる問題ではないが、国としての有効な対策を期待する。そして我々は、自分達のできる感染予防を継続していく他ない▼労働組合としても「今、何ができるのか?」「今、何をすべきなのか?」考える必要もある。こんな時だからこそ、みんなでこの難局を乗り切ろう。

(J.  
B  
O  
Y)



てんじんこうざ

新型コロナ感染は、未だ先が見えない状況が続いている。厚生労働省より「新しい生活様式」も発表され、毎日のニュースを観ても、私たちの暮らし元通りになるには、まだまだ時間がかかると感じさせられる▼私たちが、今まで過ごしてきた日常の常識が、常識でなくなつた。マスク着用、手洗い、人との間隔を2m空けるなどの対応は、少なくとも3年は継続しなければならない」という専門家もいる。これらの新しい習慣を、新しい常識とし、受け入れ、継続しなければコロナ感染は更に長期化してしまう



再生紙を使用しています